天創粉末

製品カタログ

PRODUCT CATALOG



振動ボールミル

実験用振動ボールミル

ZM

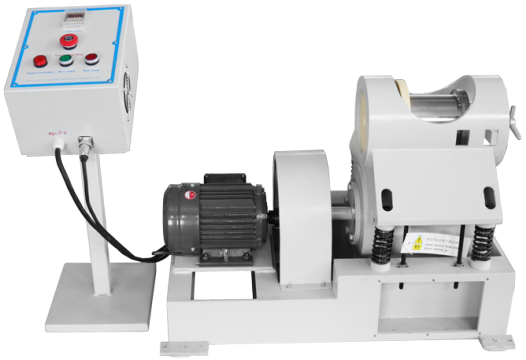
実験用振動ボールミル（振動ミル）は、単筒式・双筒式・三筒式の3構造を備えた高効率粉砕装置。セラミックス、鉱物、電子材料などのラボ試料微粉砕に最適。

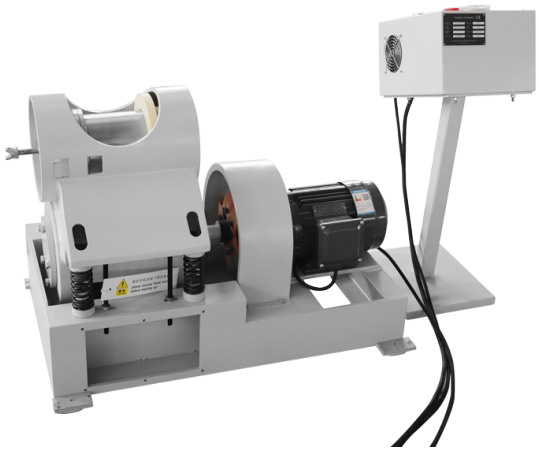
https://jp.lab-mills.com/products/grinding-series/vibratory-ball-mill/lab-vibration-ball-mill.html

作成日時 2026-10-14 16:50:58

製品概要

実験用振動ボールミル（振動ミル）は、単筒式・双筒式・三筒式の3構造を備えた高効率粉砕装置。セラミックス、鉱物、電子材料などのラボ試料微粉砕に最適。





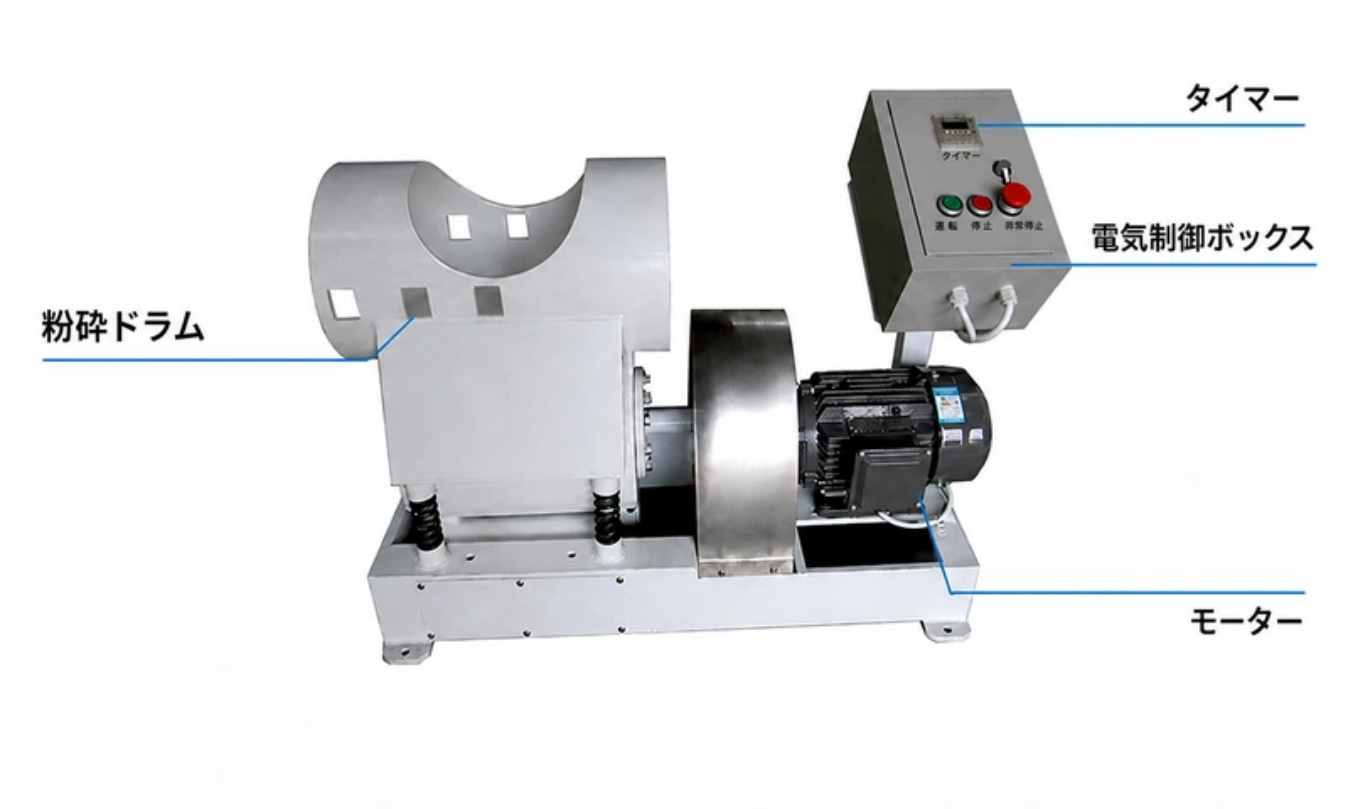






実験用振動ミルは振動ミルとも呼ばれ、新しいタイプの高効率粉砕装置です。単気筒、複筒、三気筒の3つの構造タイプがあります。

実験用振動ミルは操作が簡単で便利で、操作の信頼性が高く、掃除が簡単で、作業条件への高い適応性を備えています。乾式ボールミルと湿式ボールミルの両方に使用できます。



実験用振動ミルは、エレクトロニクス、セラミックス、化学薬品、粉末金属、タングステン、炭化カルシウム、ゴム化合物、磁性材料およびラジオ産業、高周波磁器材料および医薬品の分野で広く使用されています。

技術仕様

モデル	振幅(mm)	振動数(r/min)	積載量	ボールの装填	モーター	全体（参考）寸法（mm）	供給粒度(mm)	排出粒度（メッシュ）
ZM-(1-3)L	5-8	1440	25%	60%	1.1kW-4	880x570x680	≤5	200~2000（材質特性に関わる）
ZM-(3-5)L	5-8	1440	25%	60%	1.1kW-4	900x570x680		
ZM-10L	5-8	1440	25%	60%	1.5kW-4	980x540x685		
ZM-20L	5-8	1440	25%	60%	1.5kW-4	1160x740x740		

実験用振動ミルは、主にフレーム、下フレーム、加振機、粉砕バレル、スプリング、モーターなどで構成されています。機械が起動すると、モーターが加振機を駆動して加振力を発生させ、粉砕バレルが高周波かつ小振幅で連続的に振動します。粉砕媒体の回転と相対運動により、材料は頻繁に衝撃を受けて剥離され、それによって材料を均一に粉砕するという目的が達成されます。

1. 粉砕バレル内のメディア充填量が同容量のボールミルに比べ最大80%と多く、処理能力が大きい。
2. 構造が簡単で、振幅、周波数、媒質、比率を調整することで、異なる粒径の製品を製造することができます。
3. ジャケット付き粉砕バレルを備えた振動ミルは、粉砕温度を調整できます。
4. スクリーンと回収装置を備えた振動ミルは連続生産を実行できます。
5. 操作が簡単で便利で、操作の信頼性が高く、掃除が簡単で、作業条件への高い適応性があります。
6. 乾式および湿式のボールミル粉砕が可能です。
7. 軽量、小型、高効率。
8. 要件に応じて特別なカスタマイズを行うことができます。

特別オプション: タンクのライニングは、ステンレス鋼、セラミック（アルミナ）、ジルコニア、セラミック タイル、ナイロン、ポリテトラフルオロエチレン、食品グレードのゴム、またはポリウレタンでライニングすることができます。

関連アクセサリー・仕様のご相談

付属品や仕様の選択肢は、製品の型式と用途に応じてご案内します。

関連アクセサリー
対応する付属品や消耗品は製品・仕様によって異なります。適合する組み合わせをご案内します。

仕様のご相談
電源、処理容量、材質などのご希望をお知らせください。対応可否と選択可能な構成を製品ごとに確認します。